

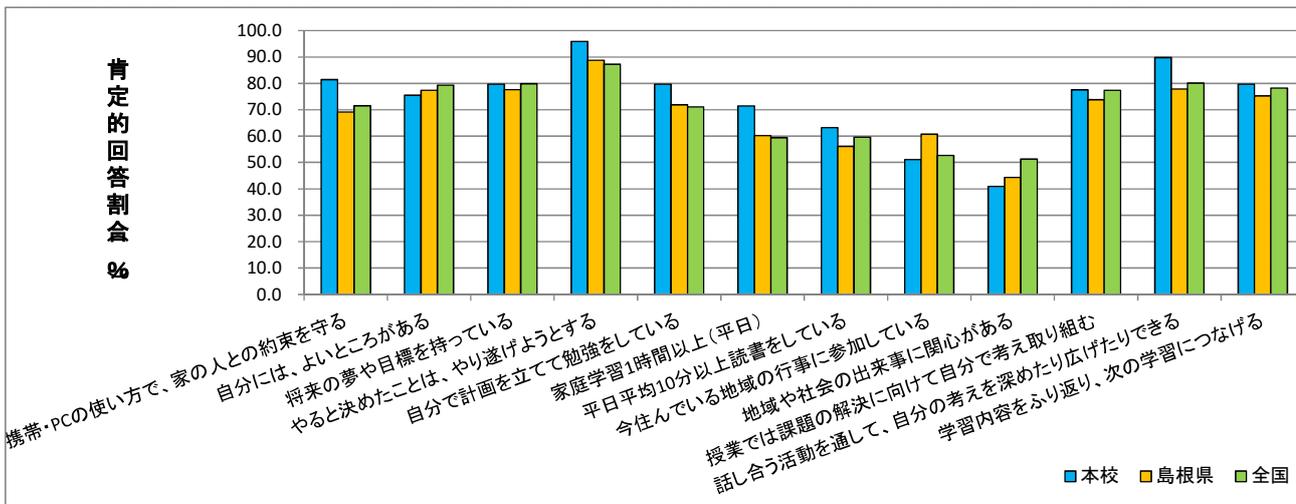
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えること。 ○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。 ●登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、人物像や物語の全体像を具体的に想像すること。	・着目した複数の叙述を基に考えたり、想像したりしたことを交流する場面を設定する。 ・場面ごとの読み取りだけでなく、場面と場面とのつながりや物語全体を通しての関わりを意識できる活動を取り入れる。
算数	○コンピューターを用いて図形を作図する際、辺の長さや角の大きさに着目し、目的とする図形を作図するための適切なプログラムを考察すること。 ●問題を解決するための考え方や方法、その理由を数学的な表現や用語を用いて筋道を立てて説明すること。	・授業の中で得た新たな知識・考え方を振り返り確認するとともに、類題や適用題において学んだことを活用し、数学的表現や用語を用いて同じように説明することができるような指導を進める。 ・思考の過程を伝え合う場を、意識的に設定する。
理科	○「エネルギー」を柱とする領域において、光の性質等について理解し、習得した知識を活用して実験について考察すること。 ●観察や実験などで得た情報や結果について、追加された情報を基にまとめを検討したり、他者の予想を基に結果を見通して、問題解決の道筋を構想すること。	・自分の考えだけではなく、他者の予想も捉え、それを基に筋道を立てて解決する方法を発想する学習活動を取り入れる。 ・「こうすれば、～になるはずだ。」といった予想が確かめられた場合に得られる実験の結果を見通して観察、実験などを行う場面を設定する。

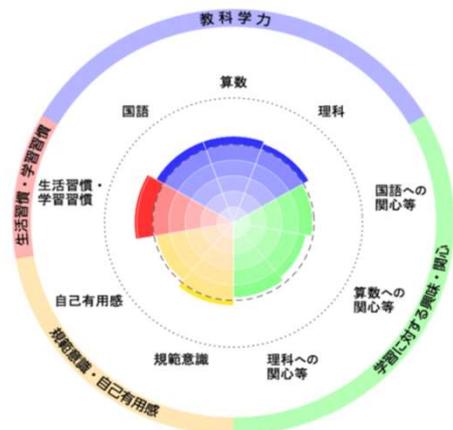
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○携帯・PC等の使い方、家の人との約束を守る児童や、やると決めたことはやり遂げようとする児童の割合が高い。 ○話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる。 ●地域や社会の出来事に関心がやや低く、地域の行事に参加している児童の割合も少ない。	・地域と連携した学習について、各教科で地域人材を積極的に活用したり、ふるさと教育として取り組むことのできる学習活動を検討したりする。 ・地域の中で自分にできることを考えたり、行動したりする機会をつくる。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・タブレットや電子黒板等のICT機器を、個人思考や意見交流に活用していく。
 ・読書活動の充実を図ったり、国語辞典を積極的に使ったりして、様々な言葉や表現に触れられるようにする。
 ・図書館司書、学校司書、担任との連携をとりながら学習における図書館活用を推進する。

【受検者数】

49 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。